

TAE of latrogenic damage

那須赤十字病院 放射線科

和田 慎司

大腿骨術後POD2 CPA

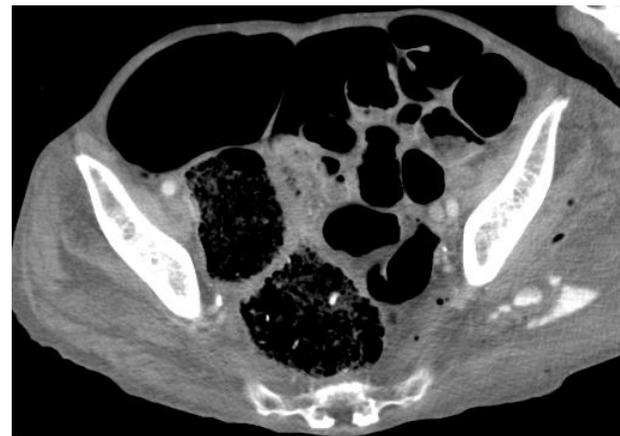
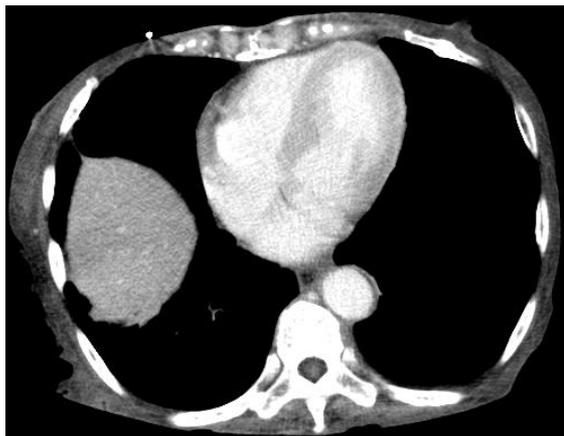
86y.o. f

CPA 原因検索

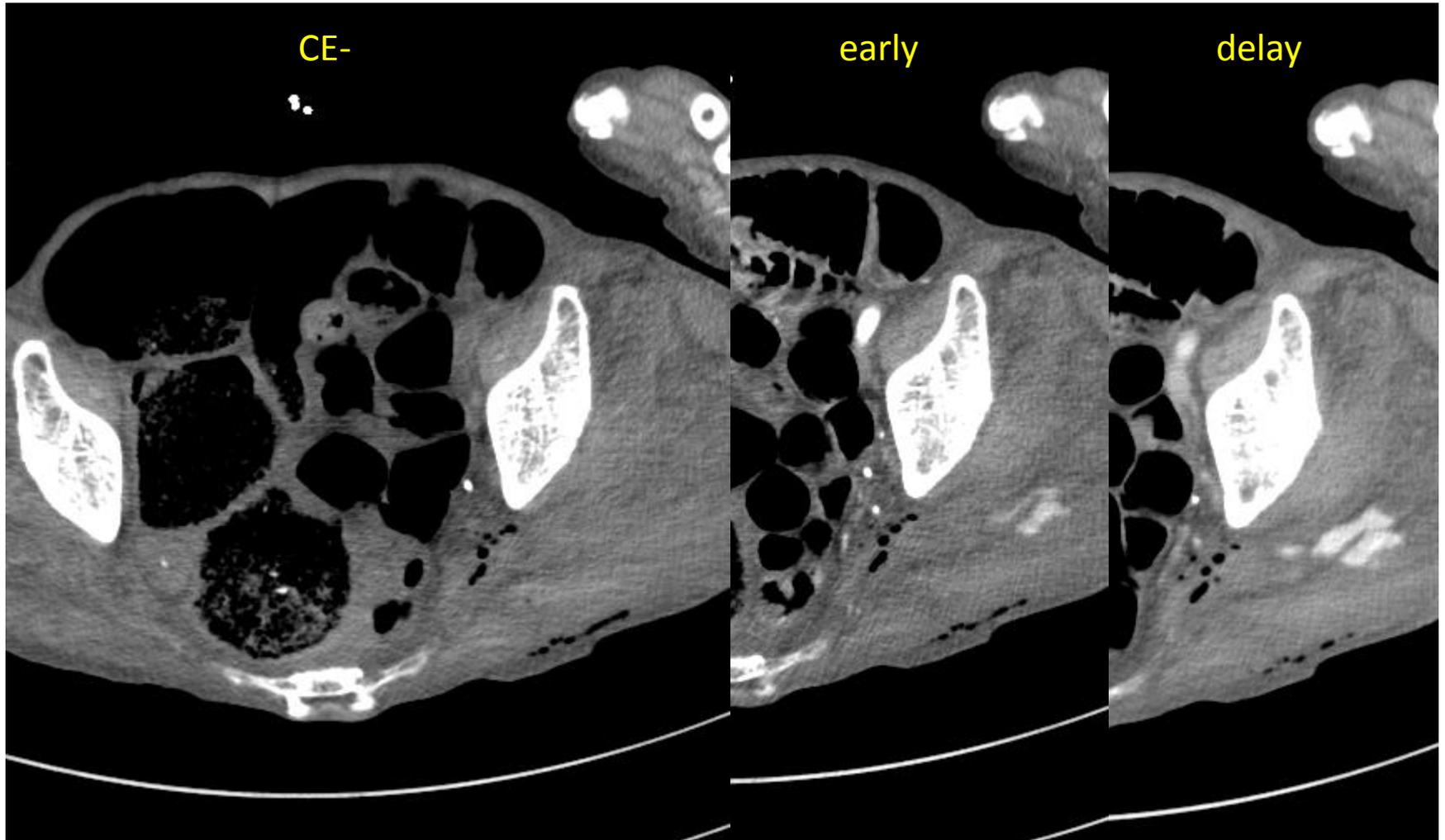


術前 Hb:9.3
POD1 Hb:7.1
POD2 Hb:4.5

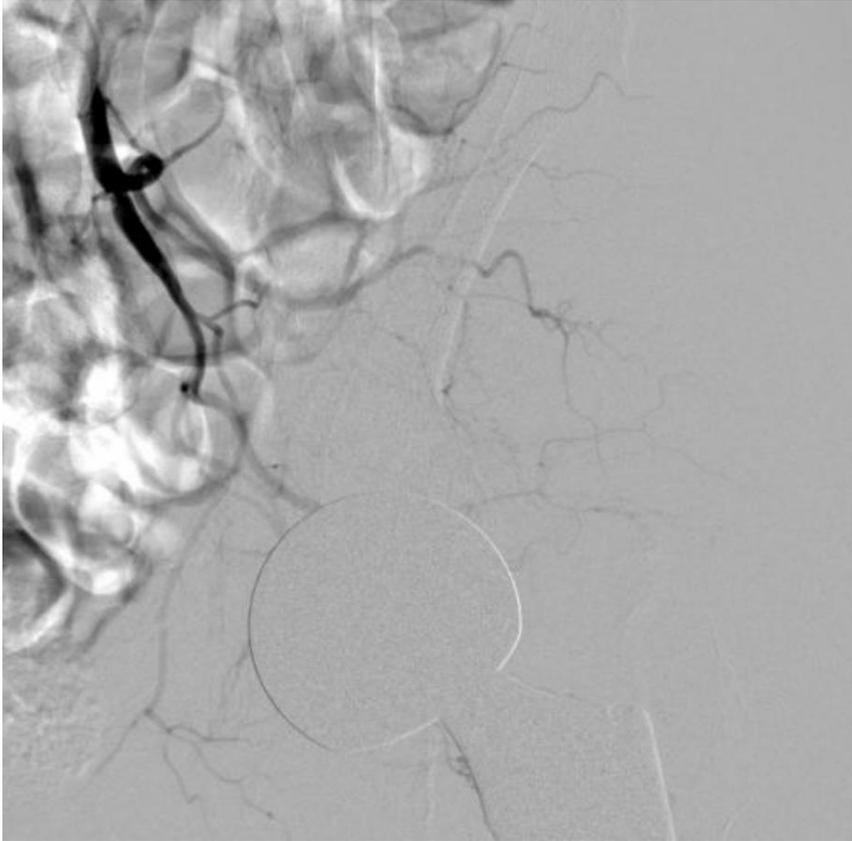
20min CPR

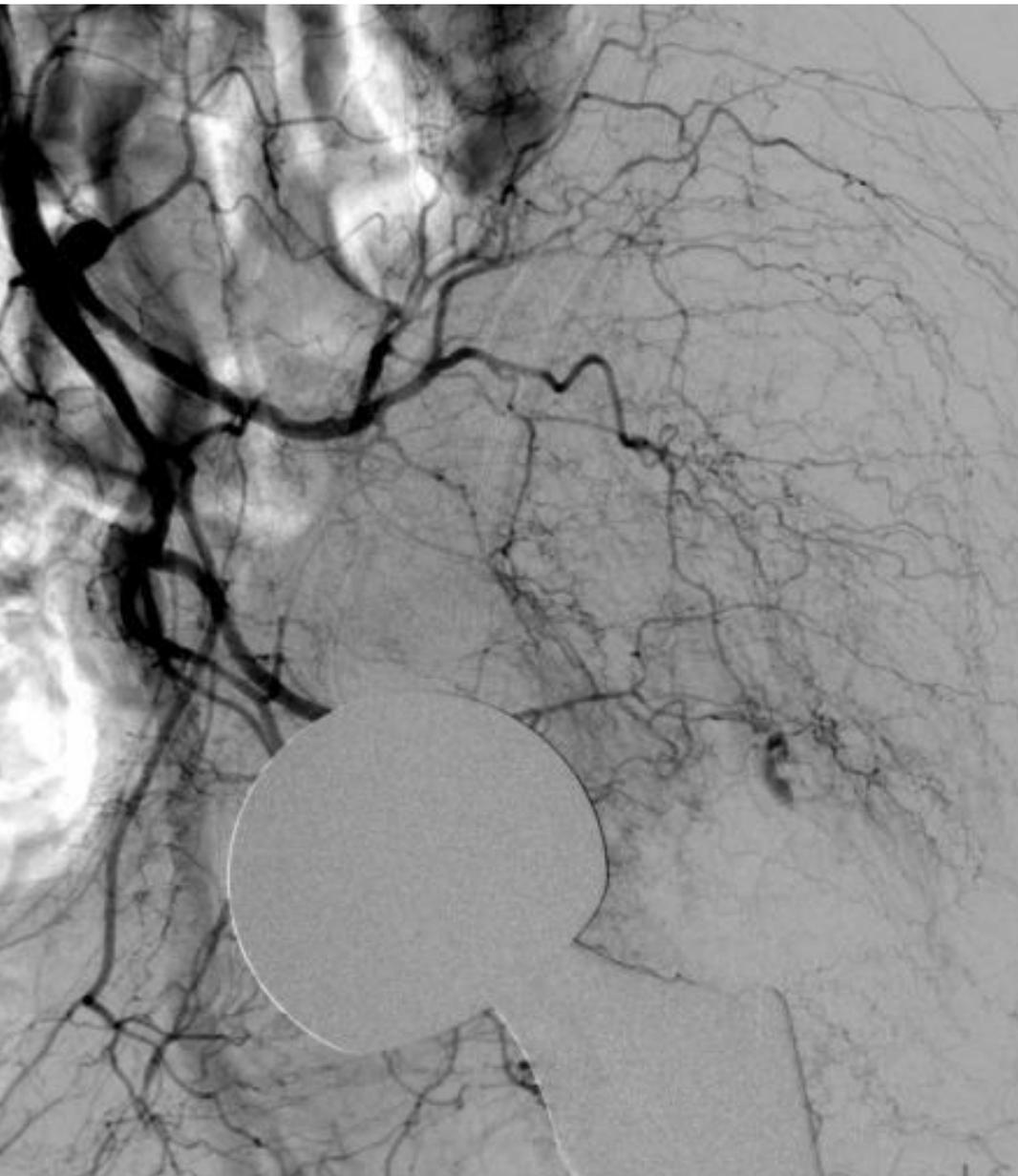


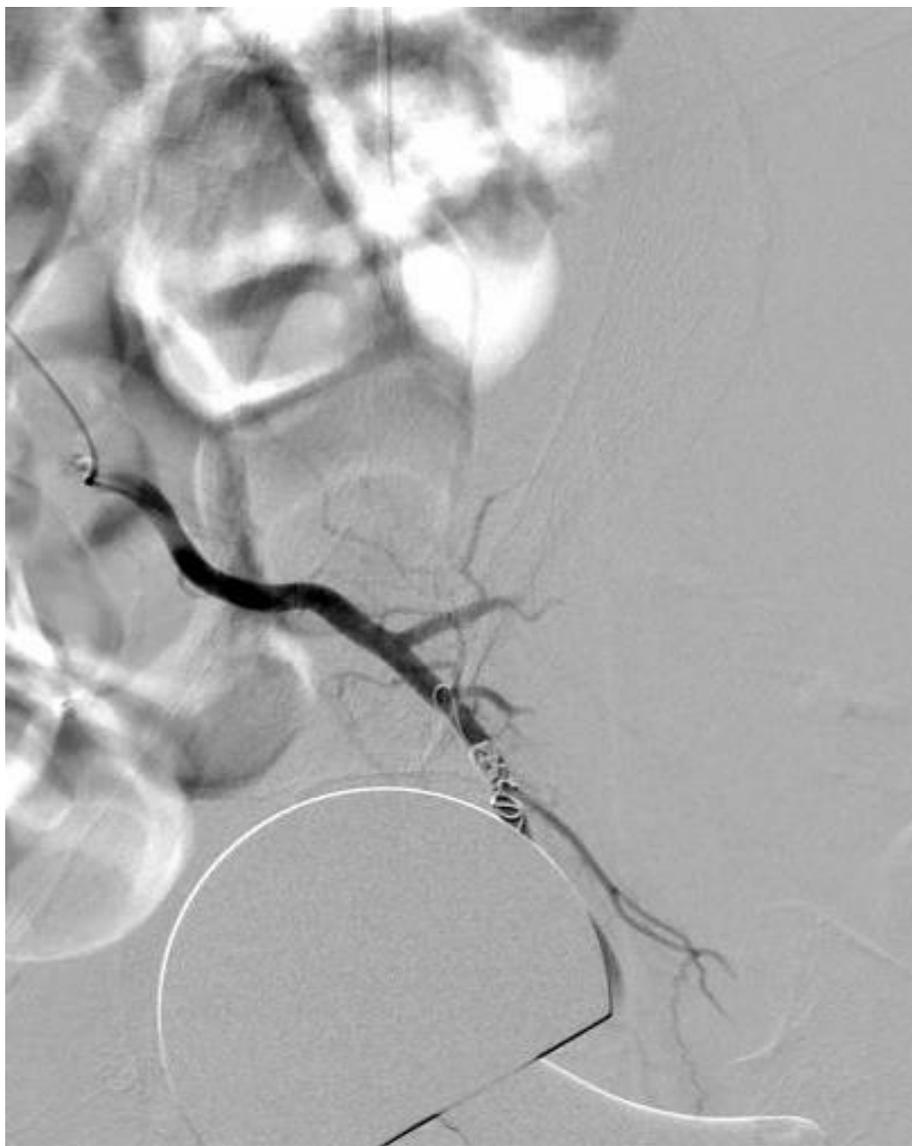
左大腿骨頸部骨折 人工關節置換術後



TAE







下臀動脈分枝

- 遠位側

2mm/4mm Vortex coil

3mm/6cm IDC coil

2mm/4mm Vortex coil

4mm/8cm IDC coil

- 中間部

ゼラチンスポンジ細片

- 近位側

2mm/5mmボルテックスコイルにて塞栓。

経過



- 貧血の進行は停止、バイタルサインは安定化
- 2週間後抜管できたが、意識障害は改善せず
- 45日後、永眠

右大腿腫脹 ショック

83y.o. f

経過

ショートステイ中の施設のベッドより転落、左大腿部を打撲、経過観察していたが、痛みが強くなり、他院に救急搬送（翌日）。

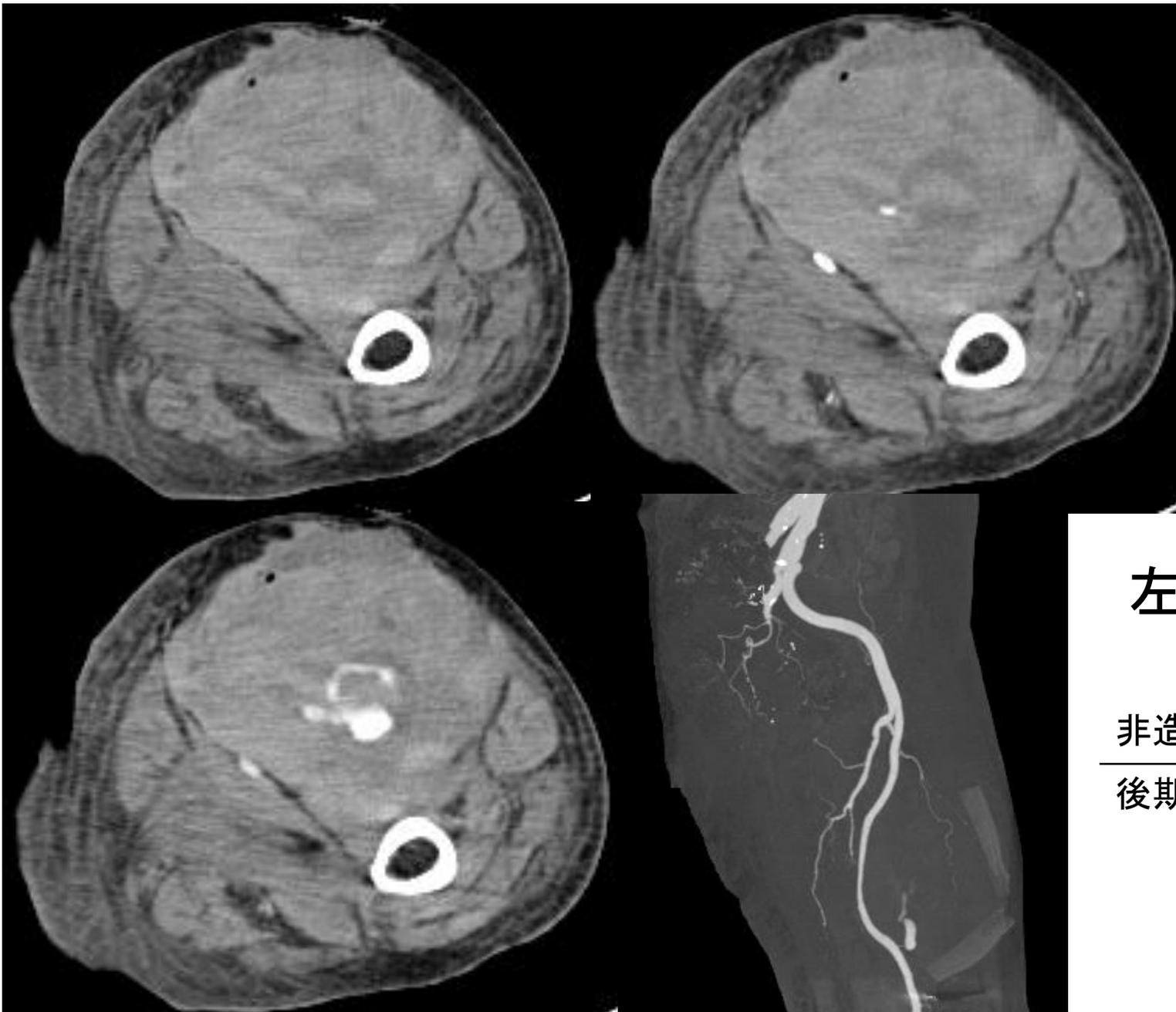
（搬送時 BP:95/55mmHg、HR:110bpm/min）

CTにて骨折なし、巨大な血腫のみでextravasationなしの診断。

局所麻酔下に血腫除去、ドレーン留置、圧迫。

（処置後 BP<70mmHg、Hb:4.5mg/dl）

その後、当院で紹介。



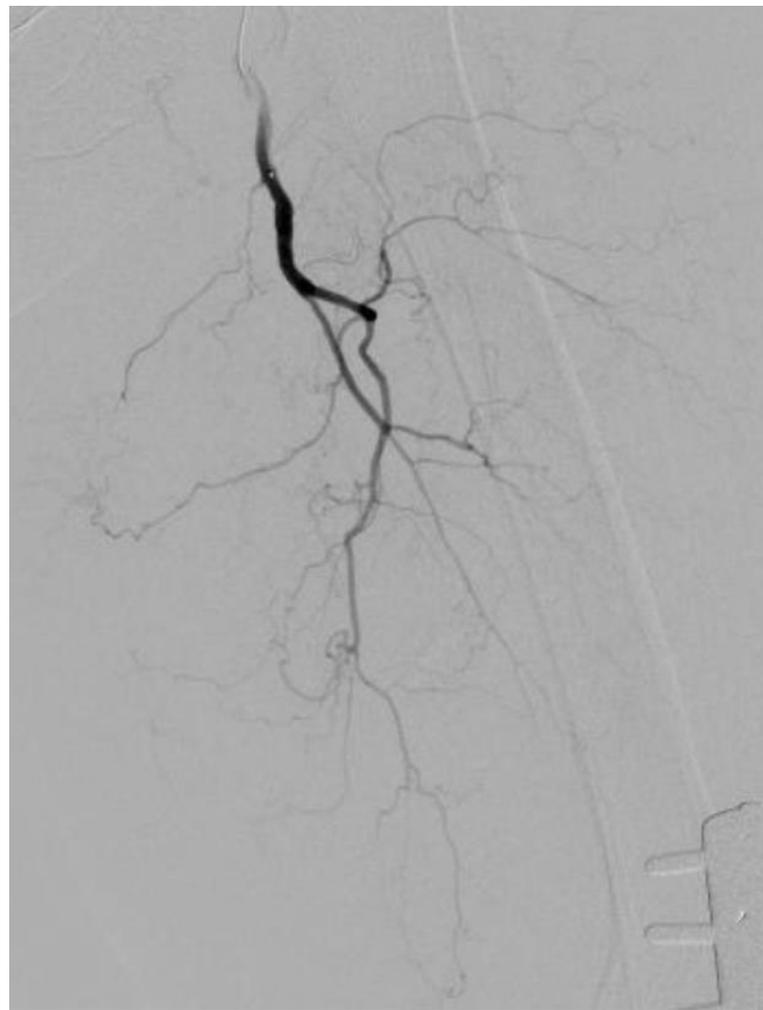
左下肢CT

非造影	早期相
後期相	MIP

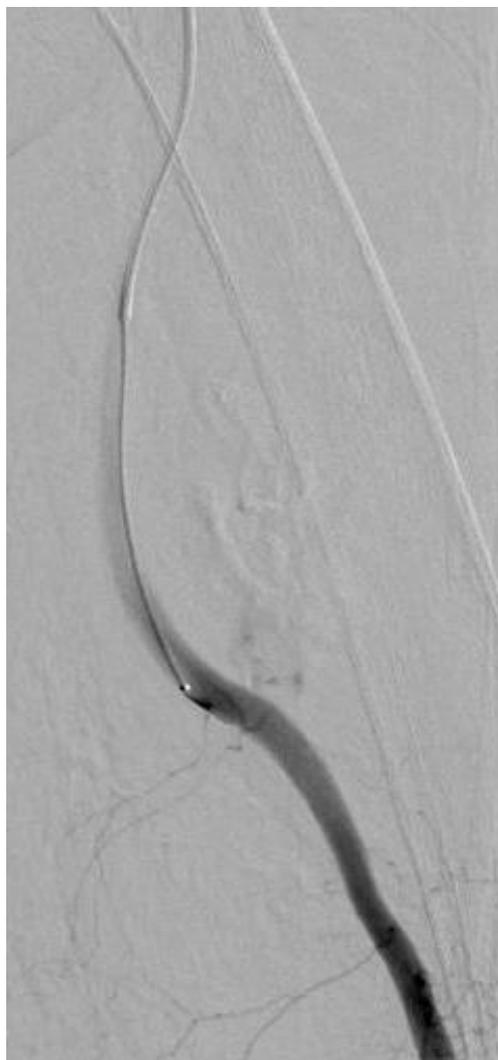
左大腿動脈撮影



左深大腿動脈撮影



浅大腿動脈撮影

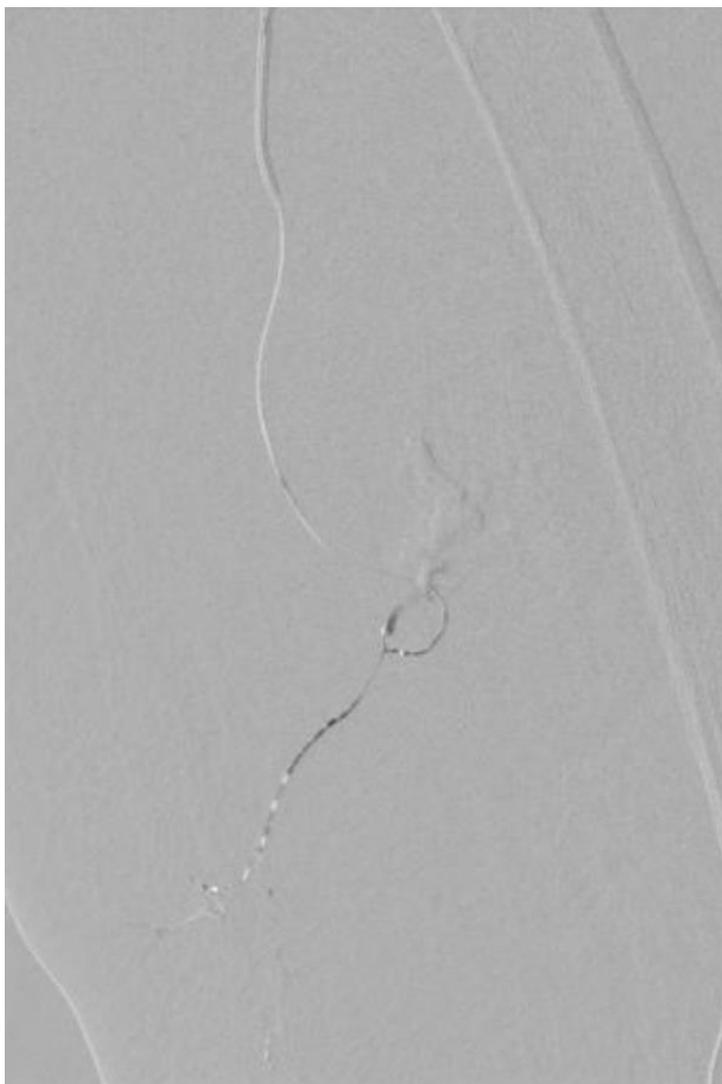


塞栓法は??

- ゼラチンスポンジ細片
- コイル
- NBCA
- バルーン
- 圧迫

- 手術

塞栓



塞栓後



経過

- Total RCC4単位、FFP2単位。
- 塞栓後、貧血の進行なく、創部管理し、1ヶ月後、紹介元に転院。

- 医中誌にて「浅大腿動脈損傷」でヒットするのは6件のみ、TAEの報告はない。
- 医原性の大腿動静脈瘻の（TAEを含めた）治療報告は散見される。
- 5例のコイル治療 Lemaire JM et al “Percutaneous coil embolization of iatrogenic femoral arteriovenous fistula or pseudo-aneurysm.” Eur J Radiol.1994 May;18(2):96-100
- バルーンアシスト下NBCA Wang W et al “Balloon-assisted N-butyl-2-cyanoacrylate closure of an iatrogenic femoral arteriovenous fistula.” Vasc Endovascular Surg.2013 Feb;47(2)131-4